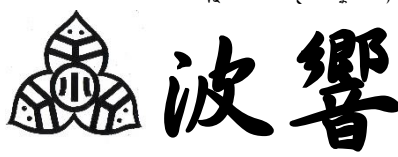



<p>岡見小学校だより は き ょ う</p> 	<p>子どもにつがたい力 こからの時代を生き抜く力</p> <p>【自給】 よりよ生活営力 【学力】 学びに向かう力 【体力】 やりきる力</p>	<p>めざす学校</p> 	<p>令和6年 4月26日 No.2 (通算No.707) 校長 細川寿俊</p>
---	--	--	---

子どもの読書活動 推進フォーラム



特別講演
テーマ「読書のススメ」
講師 喜多川 泰 氏 (作家)

岡見小学校では、令和2年度から令和5年度までの4年間、学校図書館活用教育に力を入れてきました。学校図書館活用教育とは、子供たちの読書活動を推進することはもちろんですが、図書館やインターネットなどを使って調べたり、まとめたり、発表したりするような学習活動も含んでいます。

岡見小学校の取り組みの様子を令和5年10月に中国地区学校図書館研究大会益田大会で発表しました。

この発表をきっかけに、令和6年2月に県の「学校図書館奨励賞」をいただき、さらには「令和6年度子供の読書活動優秀実践校」に選ばれ、先日4月23日に文部科学大臣表彰を受けて来ました。



今回の表彰は、本校の教職員の地道且つ意欲的な取り組み、読み聞かせや学校支援などの地域ボランティア皆さんの協力体制などを高く評価していただいたように感じています。

これまでの活動をベースにして、より充実したものになるよう努めていこうと思います。

〈帰りの飛行機から〉
ホッとした気持ちに
なった瞬間でした。



講師の喜多川さんは執筆活動以外にも講演やセミナーなども積極的に行っておられるそうです。講演やセミナーでは、いつも次のような質問を受けるそうです。

Q「どうすれば子供が本を読むようになりますか？」

A 子供に「本を読め!」と言っても無駄。結局は周りの大人次第。子供は大人の生きざまを見ている。(←我が子が小さい時、読み聞かせはいっぱいしてきました。絵本もいっぱい買いました。でも親が本を読んでいる姿は見せて来ませんでした。我が子は本好きにはなりませんでした。)

Q「何のために本を読むんですか？」
「なぜ子供に読書をすすめるんですか？」

A 同じ質問を質問者に問い返すと「知見を広げるため」「課題を解決するため」「子供に国語力をつけるため」などと返ってくる。もちろんそういう要素はあるが、何かのために本を読もうとする人は、本好きにはならない。(←私の妻は読書をすること自体を楽しんでいます。私は仕事のためにしか本を読みません。だから私は本が嫌いです。妻は仕事の本も大量に読んでいます。)

一番大切なのは目的意識ではなく好奇心と向上心である。(←グランドデザインに「エンゲージメントを高めよう」と書いていますが、正にこのことです。学習でも学校生活でも同じだと思います。)

他にもこんな言葉が心に残りました。

☆夢や目標は自生するが、志は自生しない。

「志」を持つためには、他の人の生きざまを知らなくてはならない。本には著者の生きざまが反映されている。子供たちには「何になりたい?」ではなく「どんな人になりたい?」と問いかけてほしい。(←R6 波響のNo.1に書きましたが、私も以前から「どんな人になりたい?」「どんな自分になりたい?」と問いかけるように意識しています。)